

福島県浜通り産米の「食と農の特性」の明確化と地域・食育振興

代表：新田 洋司（福島大学食農学類）

福島・浜通り地域の米：現状と問題・課題

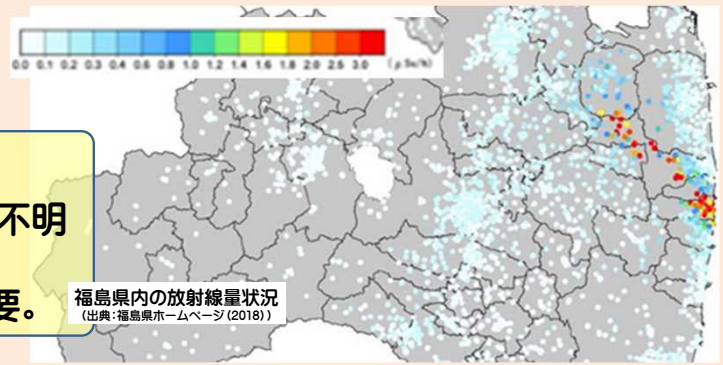


【福島・浜通り地域の米】

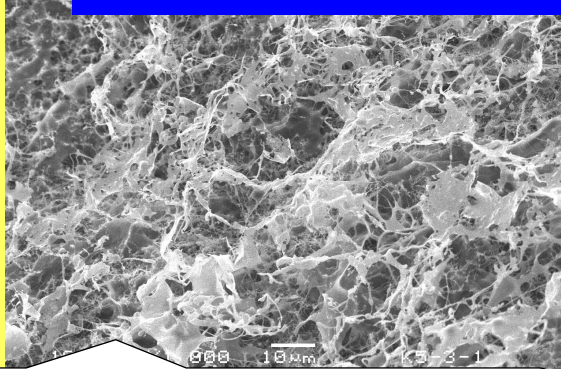
- ・福島は米どころ（全国7位の生産量）
- ・しかし、生産量は激減（原発事故前の3/4）
- ・さらに、風評被害、米の低価格化
- ・浜通り地域産米は、もともと、品質・食味が高くはないとの指摘。
- ・「食と農」からの先端解析が進んでいない。

【技術的・「食と農」からの側面】

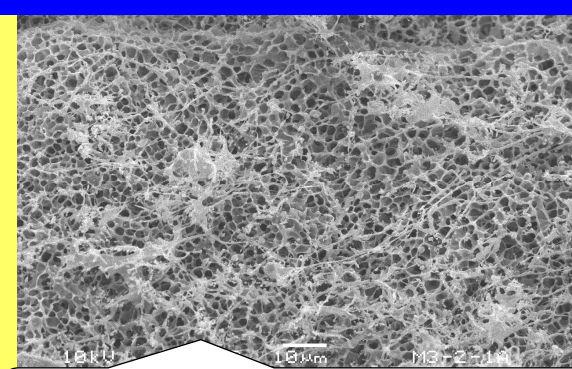
- ・被災15市町村の米の貯蔵物質の様相は不明（放射性セシウム、除染等の影響で）。
- ・機能性成分の明確化と付加価値化も必要。



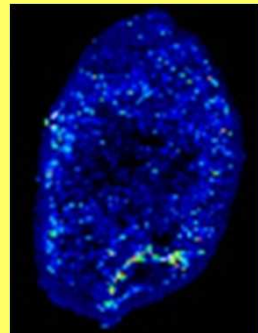
昨年度の結果の一例：解決の糸口が見えた！



川内村産「ひとめぼれ」炊飯米の走査電子顕微鏡写真（一例）。
 細繊維状構造、網目構造、膜状構造が発達し、やわらかさ、弾力、ねばり、なめらかさをもたらす。高品質・良食味米の顕著な構造。



南相馬市産「コシヒカリ」炊飯米の走査電子顕微鏡写真（一例）。
 細繊維状構造・網目構造が発達し、やわらかさ、弾力、ねばり、なめらかさをもたらす。典型的な高品質・良食味米の構造。



福島県産米の玄米中のアルギニン局在部位（青色）。

福島・浜通り地域の米は

高品質・良食味！（現在までの成果から）

成果：本事業で得られる知見と展開

「水田・農業従事者」
 「流通・実需者」 に寄与
 「食卓・消費者」

【福島・浜通り地域産の米】

- ▼「高品質化、良食味化」に必要な要因の明確化、施肥や水管理など栽培制御技術への反映
- ▼安全と安心を確認し、市場流通や販売に資する情報を提供

▼「食農」の促進

- 科学的成果を、浜通り地域、福島県内の小・中・高校等に提供（講演、模擬授業等）
- 米生産の重要性、品質・食味のとらえ方、食生活の基本的スタイルの確保の重要性を教授